

社会で活躍している山口県立大学の **自慢の** 卒業生にインタビュー！

INTERVIEW vol.04

“福祉マインド”を強みに、企業や自治体で活躍している社会福祉学部の卒業生を紹介します！



山口県立
大学公式
 Mascot
キャラクター
「わいびよ」

会社の将来性と雰囲気に魅力を感じて選んだ

営業リーダーとして住宅営業と後輩の教育、店舗の運営、店舗数値の管理をしています。この会社に就職したきっかけは、会社の将来性（事業拡大のビジョン）に期待を持ったこと、早期に管理職に就くことができそうだと感じたからです。また、社長をはじめとして、社風や職員の人柄が良いのも魅力でした。

社会福祉学科で学んだ「傾聴」が今の仕事に活かされている

営業活動を行う上で、「傾聴の姿勢」は非常に役立っています。また、ラポール（信頼関係）を築く方法や、単にお客さまと仲良くなるのではなく、ヒアリングを通じて潜在的な課題や問題点を引き出し、気づきを促す点も大学時代の学びが活かされています。

学生時代は大学祭実行委員長としてカラオケ大会を開催

大学祭実行委員長としてカラオケ大会を開催しましたが、自ら優勝して微妙な空気になりました（笑）。また、東大ドッジボールサークルを倒すという目標の下、ドッジボールサークルの立ち上げメンバーになり実際に倒したことも思い出です。大学生活は最高です！ 体力の限界まで思い出を作ってください！！



株式会社池田建設 営業部

社会福祉学科 2020年度卒業



株式会社池田建設 営業部
社会福祉学科 2019年度卒業

職場の先輩からのメッセージ

私も山口県立大学の社会福祉学部出身です。住宅営業は、お客さまの一生に一回のマイホームの夢を叶える仕事です。そのため、お客さまの家に対する潜在的なニーズに対して、どこまで私たちが寄り添うことができるかを一番大事にしています。社会福祉学部では、高齢者や子どもだけでなく、様々なニーズを抱える人たちに対して、どのようなアプローチや支援が必要かを学ぶことができるため、福祉の現場だけでなく、様々な職場で活かすことができるスキルを学ぶことができます。

彼は会社の先輩、後輩のどちらからも慕われる人気者です。入社3年目で、リーダー職にもつき、店舗運営や教育にも力を入れています。特に男性の後輩からの信頼は厚く、慕われており、社内でも頼りになる存在です。また、仕事とプライベート、どちらも全力で楽しんでいる彼は、社内だけでなく、社外の方からも愛されています。

地元で就職をすることを目指して就職活動

現在の業務は、企業を訪問し、生命保険に関する情報を提供させていただいています。地元就職をめざして、自宅から通える範囲で就職活動をしていた時、「お客さま第一主義」であるこの会社の存在を知り、大変魅力を感じインターンシップに参加しました。その際、オフィスの雰囲気や先輩がキラキラ輝いて仕事をしている姿に憧れて、入社を決めました。

社会福祉学部で身についた社会保障制度の知識が役立っている

今の仕事に直結していると思うことは、社会保障制度の知識です。大学で学んでいたからこそ、仕事に必要なファイナンシャルプランナーの資格もスムーズに取得でき、会社から「上級生涯設計デザイナー」の称号を付与されました。大学での学びは、お客さまと話す上でも、とても活かされると実感しています。

大学生活は手話サークルに所属。充実した日々だった

大学は全国から人が集まるので、友達の幅が広がりました。私は自宅から電車通学していたので、空きコマを使って、大学で友達と課題やレポートを進めたり、所属する手話サークルで手話の練習をしたり、とても充実した日々を過ごしました。大学4年間はとても貴重だったなと社会人になって感じています。高校生や在学生の皆さんは、好きなことややりたいことを今のうちにして、ぜひその経験を社会で活かしてください！



第一生命保険株式会社
広島コンサルティング営業室山口第一オフィス
社会福祉学科 2020年度卒業

職場の先輩からのメッセージ

ヘアで活動しています。細かなことにも気づいて、お客さまからもとても信頼されています。上司に言われたことを素直に聞き入れ実行しコツコツと活動を積み重ねているところを尊敬しています。





平生町役場 町民福祉課
社会福祉学科 2020年度卒業

自分にゆかりのある地に恩返しをしたくて就職

この自治体を選んだきっかけは、高校時代に平生町に下宿して過ごしていたため、自分にとって、ゆかりのある地域に何か恩返しができればと思ったことからです。

大学で学んだ「連携」と「ストレングス」の視点が役立っている

社会人となり、様々な関係者との協力・連携は不可欠であり、大学での学びが仕事に活かされていると実感しています。なかでも、「ストレングス」という相手が持つ強みや長所を活かして支援する考え方は、住民の方だけでなく、同僚との関係においても大切な視点であり、窓口業務や職場内での円滑なコミュニケーションを図るうえで大変役立っています。

大学時代のサークル活動で人との関わりを学んだ

大学生活では軟式野球部Blue Hagesでの活動が一番印象に残っています。授業だけでは交流することのできない先輩後輩をはじめ様々な人と関わりを持つことができたことは貴重な体験であり、自分にとってかけがえのない友人ができました。



職場の上司からのメッセージ

彼は「人柄」の良さに加え、野球を通じて培った「人間力」と、地域や人に関する専門的な学びである社会福祉学によって得た「知力」を兼ね備えています。窓口相談業務では住民の皆さんへの丁寧な対応に優れ、支援の連携においては自らの役割を迅速に察知し、問題解決に向けたプロセスを的確に組み立てる力を発揮しています。その優れたバランス感覚は、共に働く私たちに多くの学びをもたらしてくれます。まさに、平生町を支えるうえで欠かせない人材です。

社会福祉の学びを通じて、広く人々の暮らしを支える仕事に関心を持つ

総務課で新卒採用や広報活動を担当しています。大学では福祉や公的機関での仕事を目指していましたが、学ぶ中で、より広く人々の暮らしを支える仕事に関心を持つようになりました。地元山口に、医療を通じて社会貢献するテルモ山口があることに驚き、自分もその一員として貢献したいと感じて志望しました。入社前にお話した先輩社員のいきいきとした姿も、志望理由の一つです。

社会福祉学科の実習を通じて「対話力」が高まった

実習で身につけた対話力は、新卒採用業務でも大いに役立っています。入社を検討する学生さん一人ひとりと信頼関係を築くには、対話を通じて相手の考えや価値観を理解することが重要です。相手が求める情報や大切にしていることをくみ取り、寄り添った対応を心がけています。この姿勢は、実習で行った福祉分野でのアセスメントに通じており、現在の仕事に活かされていると感じます。



テルモ山口株式会社 総務課
社会福祉学科 2021年度卒業



職場の先輩からのメッセージ

配属当初からテキパキと仕事をこなし、不明点は積極的に質問する姿勢が見られました。誰に対しても明るくフラットで丁寧なコミュニケーションを取る姿は特に印象的です。新卒者採用を主に担当していますが、そうした姿勢が学生達に安心感を与え、採用数の確保にも貢献していると感じます。

一人ひとりに寄り添う工夫を — 大学で学んだ多様性を活かす

この会社を選んだきっかけは、生まれ育った山口県の企業に就職し貢献したいと思ったからです。住宅設備機器を取り扱う企業ということで、人々の生活をより良くするお手伝いができたらと思いました。私は主に製品の取扱説明書などの印刷物を作成をしています。子どもからご年配の方、障がいのある方といった色々な人がいるということを大学で知り学んだので、どんな人にもわかりやすく見やすい取扱説明書になるように心がけています。

大学時代、課題や国家試験は友達と一緒に乗り越えた

実家から通っており通学時間は長かったのですが、友人と一緒にだったので苦ではありませんでした。遊ぶ以外にも講義の課題について話し合ったり、国家試験前はお互いに問題を出し合ったりしていました。とても充実した大学生活でした。



株式会社長府製作所 技術部
社会福祉学科 2017年度卒業

職場の上司からのメッセージ

入社以来、設計課で7年間取扱説明書などの印刷物を作成しています。細やかな仕事ぶりや、印刷物の品質を大幅に向上させることができています。また、彼女の勤勉さと協調性は、チーム全体の士気を高める重要な要素となっています。



お問い合わせ

山口県立大学 入試部門・就職支援部門

[所在地] 〒753-8502 山口県山口市桜島6丁目2-1

[電話] 083-929-6503 (入試部門)・083-929-6501 (就職支援部門) 平日9時～17時